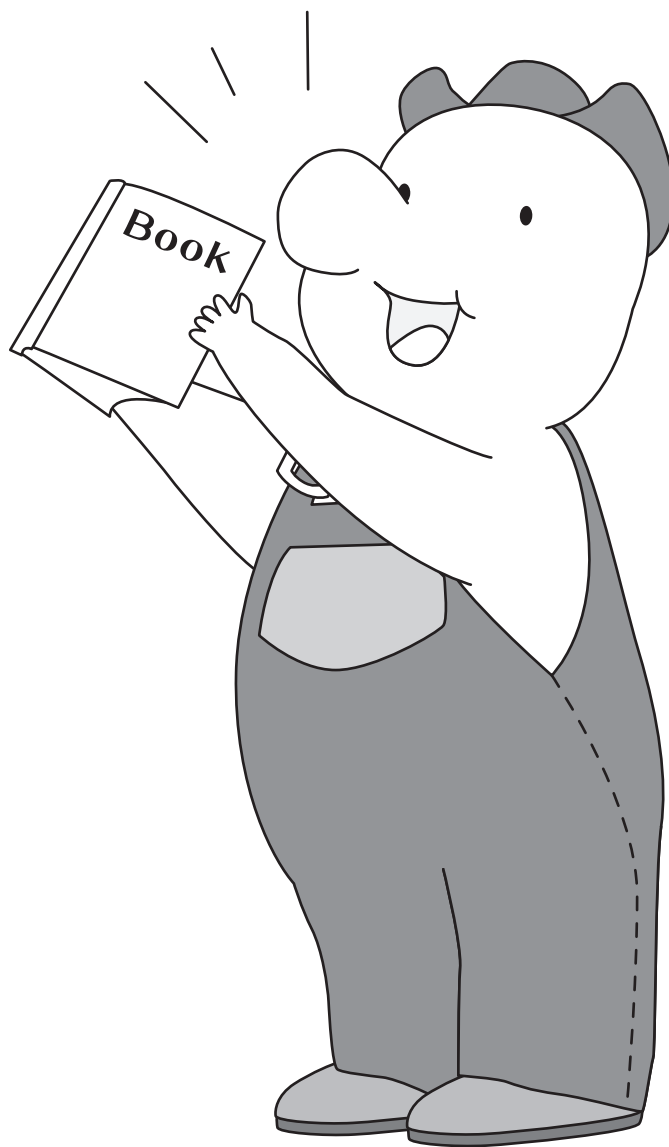


じょうずにできるかな



モマン 6-1

なまえ _____

たしざんをしましょう。

$$1 + 3 = 4$$

$$2 + 3 =$$

$$3 + 3 =$$

$$4 + 3 =$$

$$5 + 3 =$$

3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

モマン 6-2

なまえ

たしざんをしましょう

$$\begin{array}{c} 5 \\ \text{oooo} \end{array} + \begin{array}{c} 3 \\ \text{ooo} \end{array} = 8$$

$$\begin{array}{c} 6 \\ \text{oooo} \\ \text{o} \end{array} + \begin{array}{c} 3 \\ \text{ooo} \end{array} =$$

$$\begin{array}{c} 7 \\ \text{oooo} \\ \text{oo} \end{array} + \begin{array}{c} 3 \\ \text{ooo} \end{array} =$$

$$\begin{array}{c} 8 \\ \text{oooo} \\ \text{ooo} \end{array} + \begin{array}{c} 3 \\ \text{ooo} \end{array} =$$

$$\begin{array}{c} 9 \\ \text{oooo} \\ \text{ooo} \end{array} + \begin{array}{c} 3 \\ \text{ooo} \end{array} =$$

3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

モマン 6-3

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

きゅうそ
窮鼠

ねこ
猫をかむ



こ
子どもは

かせ
風の子



くち
口は

わざわい
禍のもと



くさ もの
臭い物に

ふた



くる
苦しいときの

かみ だの
神頼み



モマン 6-4

なまえ

せん
線でむすびましょう。

くち
口は

ねこ
猫をかむ



くさ もの
臭いものに

わざわい
禍のもと



きゅうそ
窮鼠

かみ だの
神頼み



こ
子どもは

ふた



くる
苦しいときの

かぜ こ
風の子



モマン 6-5

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

きゆうそ
窮鼠
ねこ
猫をかむ

いざとなったら強いぞ!



こ
子どもは
かせ
風の子

さむ
寒くたって
へいき
平気さ



くち
口は
わざわい
禍のもと

しまった! うっかり
しゃべっちゃった



くさ
臭いものに
ふた

し
知らないふりをしよう



くる
苦しいときの
かみだの
神頼み

こま
困ったときは
かみさま
神様に
おねがいだ



モマン 6-6

なまえ

せん
線でむすびましょう。

くち
口は
わざわい
禍のもと

くる
苦しいときの
かみ だの
神頼み

きゆう そ
窮鼠
ねこ
猫をかむ

こ
子どもは
かせ
風の子

くさ もの
臭い物に
ふた

こま
困ったときだけ神や仏に
たす
助けを求めること。



い こと ば しっぱい
うっかり言った言葉が失敗
をまねくこともある。



さむ こ
どんなに寒くても子どもは
げんき 外で遊ぶ様子。



し いちじ
知られたくないことを一時
しのぎにかくそうとすること。



よち もの
弱い者でもおいつめられると
はんげき
反撃をすることがある。



モマン 6-7

なまえ _____

すうじをなぞりましょう。
かけざんをしましょう。

$$4 \times 1 = 4$$

$$4 \times 2 = 8$$

$$4 \times 3 = 12$$

$$4 \times 4 = 16$$

$$4 \times 5 = 20$$

4	8	12	16	20
---	---	----	----	----

モマン 6-8

なまえ

すうじをなぞりましょう。
かけざんをしましょう。

$$4 \times 5 = 20$$

$$4 \times 6 = 24$$

$$4 \times 7 = 28$$

$$4 \times 8 = 32$$

$$4 \times 9 = 36$$

20

24

28

32

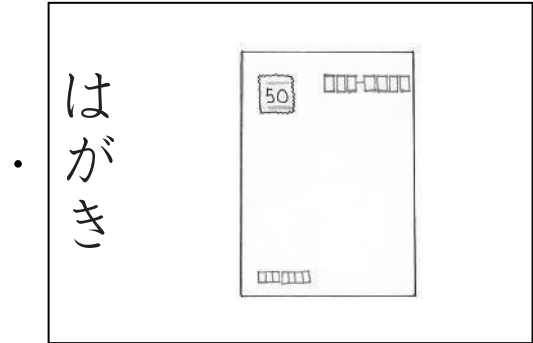
36

モマン 6-9

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

いっつう
一通



ひとくみ
一組



いちじょう
一帖

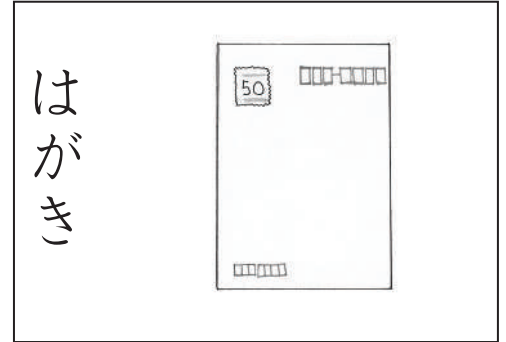


モマン 6-10

なまえ

せん
線 で む す び ま し ょ う 。

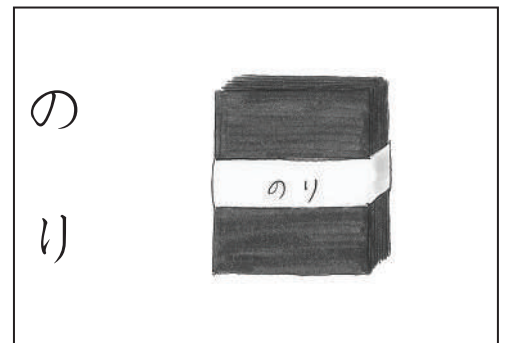
ひと くみ
一組



いっ っう
一通



いち じょう
一帖



モマン 6-11

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

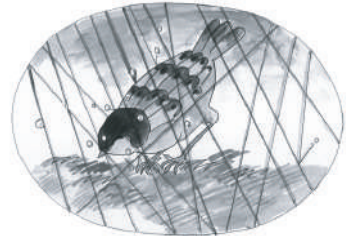
ひと ぬ
一つ脱いで

うしろ お
後に負いぬ
ころも
衣がえ



ゆう
夕だちや

くさ は
草葉をつかむ
むらすずめ



あお がえる
青蛙

おのれもペンキ
ぬ
塗りたてか



モマン 6-12

なまえ

せん
線でむすびましょう。

ゆう
夕だちや

おのれもペンキ
ぬ
塗りたてか



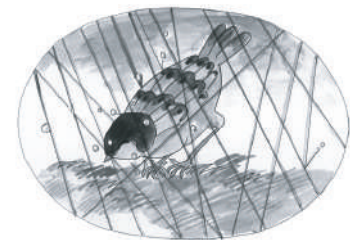
あおがえる
青 蛙

うしろ お
後 負いぬ
ころも
衣がえ



ひと ぬ
一つ脱いで

くさは
草葉をつかむ
むらすずめ



□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

ひ

とつぬいで

う

しろにおい

ぬ

こ

ろ

も

が

え

松^{まつ}尾^お芭^ば蕉^{しょう}

モマン 6-14

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

ゆ

う

だ

ち

や

く
さ

は

を

つ

か

む

む
ら

す

ず

め

与_よ
謝_さ
蕪_ぶ
村_{そん}

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

あ
お
が
え
る

お
の
れ
も
ぺ
ん
き

ぬ
り
た
て
か

あ
く
た
が
わ
り
ゆ
う
の
す
け
芥川龍之介

モマン 6 - 16

なまえ

はじめからおわりまで、^{すす}進みましょう。

はじめ



あ	お	が	え	る	も	る	も	ま
お	が	え	る	お	あ	え	か	か
が	き	い	ろ	の	ま	が	え	な
え	も	り	に	れ	も	ぺ	る	の
る	は	や	か	わ	ぺ	ん	で	か
で	ん	は	た	つ	ん	き	ぬ	こ
い	す	や	ら	よ	た	を	り	う
ま	に	し	ち	う	つ	ぬ	た	て
す	い	う	ゆ	な	い	ろ	だ	か



おわり

- 1 ^{はな}花さかじいさんが、^き木の^{うえ}上にのぼってまくものなあに？

はい

- 2 ^け怪^が我をした^{ひと}人が、まくものなあに？

ほうたい

- 1 ^{いっかい}一回しかまいていないのに^{はっかい}八回もまいた
というものなあに？

はちまき

- 2 ^{さむ}寒いとき、^{くび}首にまくものなあに？

マフラー

せん
線
でむすびましょう。

しつ じつ
質 実

ごう けん
剛 健



しん き
心 機

いっ てん
一 転



せん きやく
千 客

ばん らい
万 来



モマン 6-20

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

せんきやくばんらい
千客万来

こんなにたくさんのお客さん！



しつじつごうけん
質実剛健

飾^{かざ}り^け気がなく、まじめ
で頼^{たよ}りになるなあ。



しんきいつてん
心機一転

ここで気^き持^もちをいれかえて！



モマン 6-21

なまえ

せん
線でむすびましょう。

しん き いってん
心機一転

たくさんの客きやくがおとずれること。



しつ じつ ごう けん
質実剛健

きもちを新あたらしく入れ替かえること。

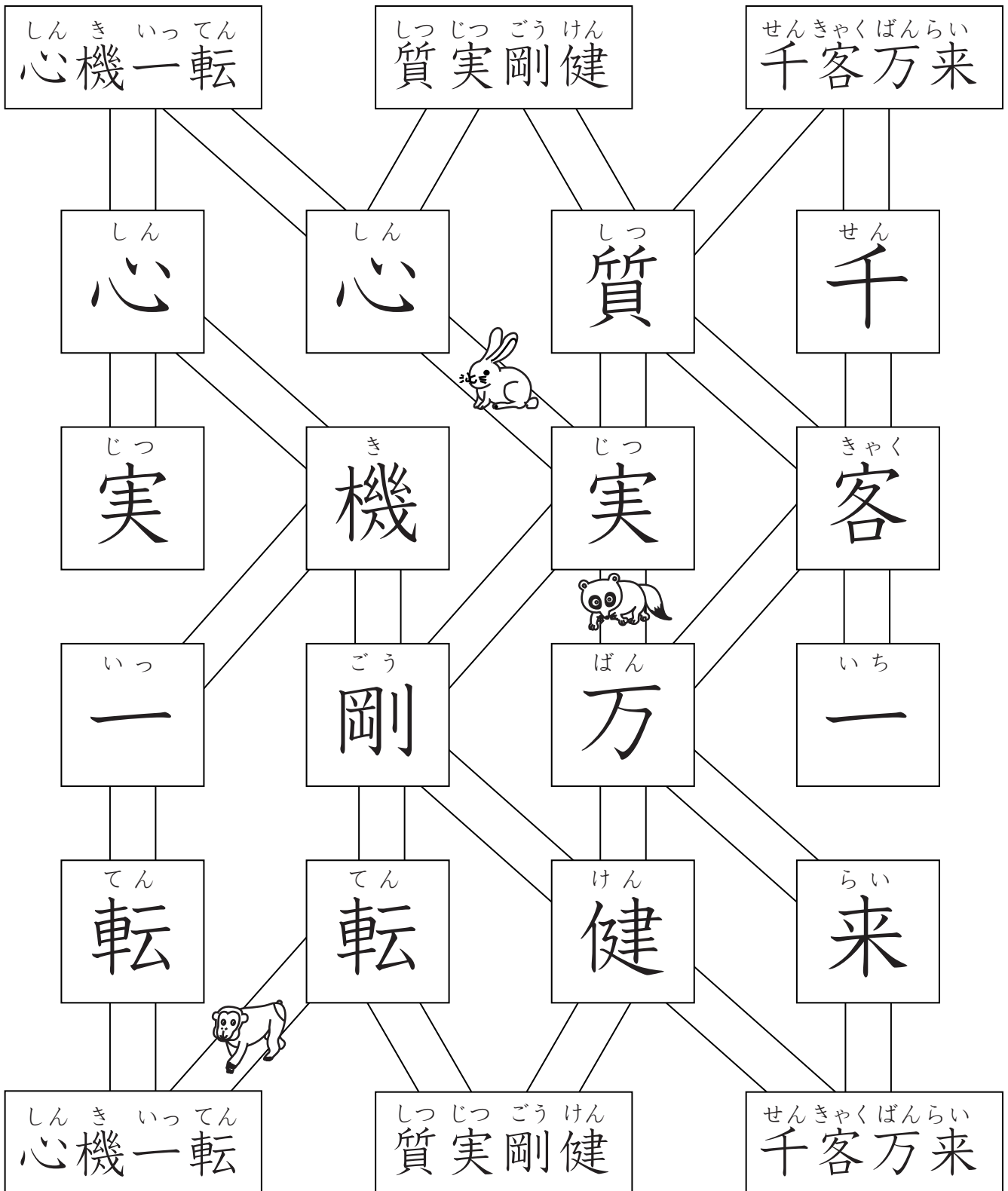


せんきやくばんらい
千客万来

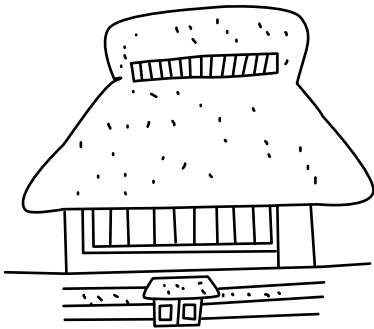
まじめでたくましいこと。



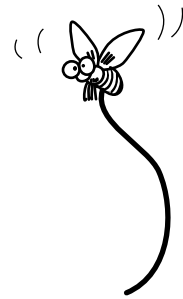
線せんでむすびましょう。



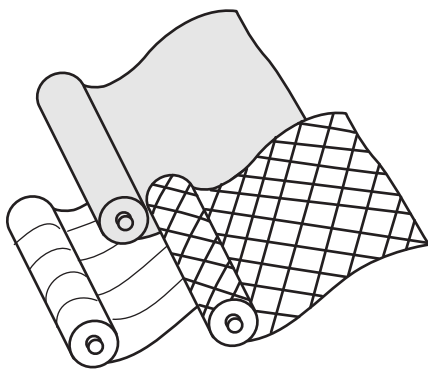
男^{おとこ}は、みかん^{みっ}三つと何^{なに}をかえましたか？
○をつけましょう。



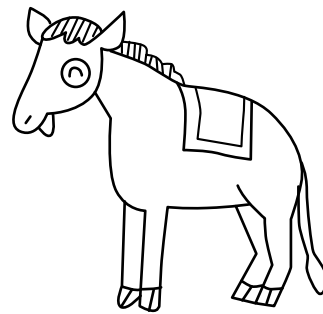
やしきと
田^たんぼ



アブをくくりつけた
わらしべ

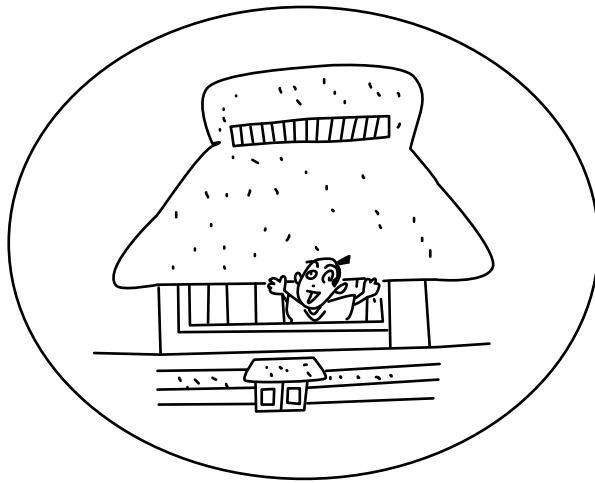


たんもの
三^{さん}たん



うま

やしきと^た田んぼをかしてくれた^{ひと}人は、^{なん}何と
いいましたか？



- 1 ^{みっか}三日たっても^{かえ}帰らなかつたら、みんなあげよう。
- 2 ^{さんねん}三年たっても^{かえ}帰らなかつたら、みんなあげよう。
- 3 ^{ごねん}五年たっても^{かえ}帰らなかつたら、みんなあげよう。

モマン 6-25

なまえ

せん
線でむすびましょう。

よしの
み吉野の
やま あきかぜ よ ふ
山の秋風 さ夜更けて



さむ
ふるさと寒く
ころもう
衣打つなり



ん
あらざらむ
よ
この世のほかの 思ひ出に
おもいで



いま
今ひとたびの
お う
逢ふこともがな



ひさかた
久方の
ひかり
光のどけき はる ひ
春の日に



ずごころ
しづ心なく
はな ち ん
花の散るらむ



わす
忘れじの
ゆ すえ かた
行く末までは 難ければ



きょう かぎ
今日を限りの
いのち
命ともがな



モマン 6 - 26

なまえ

せん
線でむすびましょう。

ひさかた
久方の
ひかり
光のどけき 春の日に



きょう かし
今日を限りの
いのち
命ともがな

よしの
み吉野の
やま あきかぜ
山の秋風 さ夜更けて



いま
今ひとたびの
おう
逢ふこともがな



わす
忘れじの
ゆ すえ
行く末までは 難ければ



さむ
ふるさと寒く
ころもう
衣打つなり



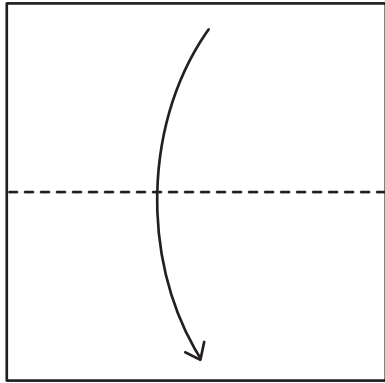
あらざらむ
この世のほかの 思ひ出に



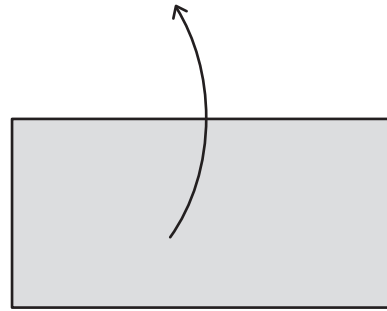
ずごころ
しづ心なく
はな ち
花の散るらむ



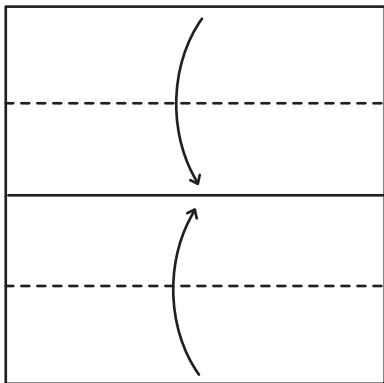
《ボート》



1 はんぶん に たにおりする



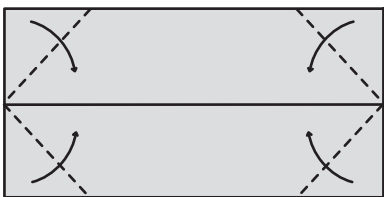
2 もとに もどす



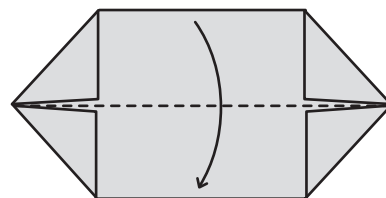
3 まんなかの おりせんに
あわせて たにおりする



4 うらがえす



5 まんなかの おりせんに
あわせて たにおりする



6 はんぶん に たにおりする



ボートの かんせい